

北区景観
百選をめぐる
散策MAP

雄大な荒川の
流れを

望む川辺の道

浮間～岩淵赤水門～赤羽駅東口 9.0km

- 浮間舟渡駅
- 都立浮間公園
- 浮間桜草園場
- 浮間二丁目の桜並木
- 浮間コミュニティ道路
- 新河岸川と遊歩道
- 荒川にかかる鉄道の橋
- 荒川赤羽桜堤緑地
- 岩淵赤水門と荒川
- 新岩淵青水門
- 赤羽カトリック教会
- 赤羽公園
- 赤羽駅



① 「人と緑と太陽の道」
モニュメント

浮間コミュニティ道路の脇には、可愛らしい子どもたちのモニュメントがあり、通り空間の快適な演出に一役買っています。



② 高台に見えるマリア像

荒川赤羽桜堤緑地からは、景観百選に選ばれている「星美学園のマリア像」を見ることができます。



③ ボードウォーク

荒川の流れの上に設置されていて、足下から川岸に打ち寄せる水の音が聞こえる楽しい散歩道です。



4 岩淵赤水門付近の桜

見事な桜が咲き、シーズンには、土手の芝生でお花見を楽しむ多くの人々が訪れます。

このコースの見所は、新河岸川から荒川へとつながる川辺のコースにあります。荒川の川辺はとても広く、さわやかな風に吹かれて、気持ちよく散策することができます。特に、旧岩淵赤水門付近には、知水資料館など水に親しめる施設があり、訪れる人々を楽しませてくれます。また、荒川から隅田川が分岐し、新河岸川と合流するようすは、とても素晴らしい眺めをつくりだしています。その他、都立浮間公園や赤羽駅付近のにぎわいなども楽しめる、景観百選のうち11カ所を巡る散策コースです。



5 荒川知水資料館 amōa

荒川に関するさまざまな情報が、わかりやすく展示されています。開館：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）。休館日：毎週月曜、祝日の翌日、年末年始。入館無料。TEL.03(3902)2271



！コースポイント
信号がある交差点

赤羽1番街商店街
赤羽駅に通じる活気のある商店街です。

赤羽駅東口駅前
噴水のある駅前広場は、待ち合わせなど多くの人に利用されています。

黒田機器株式会社 東京工場の事務所棟
板張りの外壁が特徴のレトロな洋風建築です。

La Laガーデン
平成9年、赤羽スズラン通り商店街に、開閉式のアーケードができました。

景観百選散策コースを楽しく歩くために その1 《1コースは駅から駅への3時間》

すべての散策コースは、概ね3時間程度で歩けるコースを設定しています。ただし、コース④やコース⑥のように、途中でコースの色が変わるものについては、各色のコースとも、それぞれ3時間程度かかるということです。

公園でお弁当を上げたり、遊んだりしたい方は、それよりも時間に余裕をもって散策することをおすすめします。

また、交通の便を考えて、コースは全て、スタート・ゴールの地点を鉄道・都電の駅にしています。

北区景観 百選をめぐる 散策MAP

赤羽の桜と 歴史を巡る道



① 赤羽八幡神社の鳥居

師団坂脇に見える大きな鳥居は、迫力を感じさせます。



② 緑道公園のパークブリッジ

桜や紅葉の時期、この橋の上からは素晴らしい眺めが望めます。



③ 赤羽自然観察公園

平成11年にオープンした、自然をテーマにしたとても広い公園です。



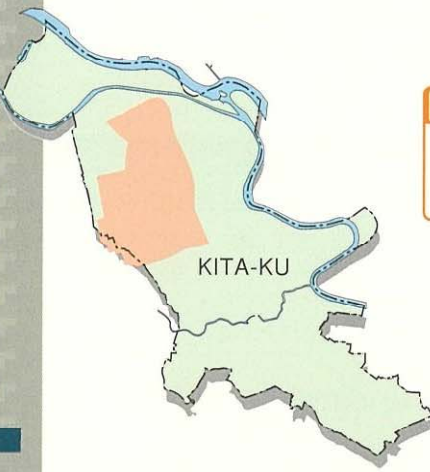
赤羽台四丁目公園
崖下を広く見下ろすことができる絶好のビューポイントで、晴れた日にはとても明るい感じのする公園です。

稲付中学校前の横断歩道橋
サッカーの試合がないときでも、ここからサッカー場が見えます。また、春には競技場外周の桜並木も見渡せます。

産線の眺め
アップダウンが多い赤羽西地区ですが、高台からの見晴らしはよく、特に、この場所からの眺めはおすすめです。

赤羽西地域一周 10.5km

- 赤羽駅
- 赤羽駅西口駅前の風景
- 赤羽八幡神社
- 師団坂
- 星美学園のマリア像
- 赤羽桜並木通り
- 赤羽緑道公園
- 大恩寺
- 西が丘サッカー場
- 稲付西山公園前の桜並木
- 西が丘住宅街の桜並木
- 清水坂公園
- 赤羽駅
- 赤羽西口駅前の七福神
- 赤羽台団地外周道路の八重桜
- 赤羽台団地の梅林
- 亀ヶ池弁財天
- 静勝寺(稲付城跡)
- 普門院



KITA-KU

赤羽西地域は、^{がいせん}崖線が複雑に入り組んでおり、坂道や階段が比較的多い場所です。少々疲れるコースかもしれませんが、このアップダウンが散策を楽しくし、高台からの素晴らしい眺めの数々をつくりだしているのです。また、この散策コース上には、赤羽桜並木通りをはじめとする桜並木や、公園、寺社など、その美しい緑が多くの支持を集めた景観がたくさんあります。景観百選のうち17カ所を巡ることができるこのコースに、いざ出発！ただし、日頃運動不足ぎみの方は、しっかりと準備運動をお忘れなく。



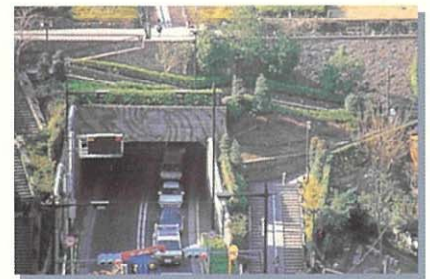
4 清水坂公園の流れ

この公園には、崖地の斜面を利用した川の流れと池があり、水遊びなど子どもたちに人気の場所です。



5 普門院の共同墓地

お寺の中には、インドの仏塔をモデルにした共同墓地があります。



6 赤羽台トンネル

八重桜が植えられた団地外周路の下に、斬新なデザインをしたトンネルの出入口があります。トンネル出入口脇にある石造りの階段と、トンネルの上にある緑豊かな歩道とが、美しい景観をつくり上げています。ここは平成5年に「手作り郷土賞」に選ばれました。

景観百選散策コースを楽しく歩くために その2 《コースを外れて、寄り道をしよう》

散策コースは、景観百選をできるだけ効率よく回ることができるように設定していますが、残念ながらルートからもれてしまった百選もあります。また、この散策マップでは、コース上にある百選以外の見所についても紹介していますが、コースから外れたところにも、そのような場所はたくさんあります。

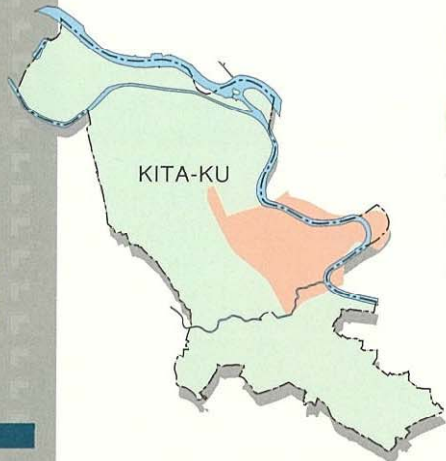
ですから、「あっ、こっちの方もおもしろそうだな」と感じたら、余裕のある限り寄り道をしてみてはいかがでしょうか。あなた独自の楽しいルートが、たくさん見つかるはずですよ。

北区景観 百選をめぐる 散策MAP

隅田川・並木道・商店街 王子東地域を見尽くす道

東十条～豊島～北とびあ 7.0km

- 東十条駅
- 東十条商店街
- 王子五丁目引込み線
付近の桜並木
- 神谷堀公園
- 神谷水上バス
発着場周辺
- 新田橋から眺めた
隅田川の景色
- 豊島公園
- 柳田公園
- 北とびあ
 - 新幹線の遠景
 - 飛鳥山から王子神社
へかけての緑
- 王子カルチャーロード
- 王子駅



② 東京水辺ライン

岩淵赤水門や東京港を經由して隅田川・荒川・新河岸川を運行するコースなどがあり、船からは楽しい眺めを満喫することができます。予約・問い合わせについては、財団法人東京都公園協会 TEL.03(5608)8869まで。



① 引込み線の踏切

今では珍しくなった、倉庫に通じる引込み線があります。普段、列車がめったに通らないこの踏切で、たまたま列車が見られると、とても“ラッキー”な気分になります。



④ 北とびあ17階展望台からの眺め

写真は、東側の窓から見た隅田川方面の景色です。南側の窓からは「飛鳥山から王子神社へかけての緑」、北側の窓からは「新幹線の遠景」などがよく望めます。



③ 新田橋から眺めた隅田川上流の景色

住宅・オフィスの整備が着々と進められ、整った街並みが形成されていくようすが見えます。

王子東地域は、住宅と商店や工場が混ざり合った活力あるまちです。地域を流れる隅田川の川辺も、親水性の高い場所として生まれ変わりつつあります。活気のある商店街や公園・並木道などの緑が、訪れる人々をあたたく迎えてくれることでしょう。北とびあからの眺めを含め、景観百選のうち11カ所を巡る散策コースです。この地区が、これからどのように変わっていくのか——そんなことを思い描きながら散策してみたいかがでしょうか。



！コースポイント
日本フェルト工場跡地の整備とともに、川辺を快適に歩けるスーパー堤防が完成します。

清光寺
かつて、源頼朝の幕府設立にも参加した豊島清光の木像が安置されています。

！コースポイント
車の通りが多く、通行には十分注意して下さい。

紀州神社
社殿は、緑青の屋根が美しく、また、境内にある桜が春にはきれいな花を咲かせます。

豊島中央通り商店街
平成11年に歩道のカラー舗装が完成し、快適に歩けるようになりました。季節ごとに装飾に工夫を凝らす、おしゃれな商店街です。

！コースポイント
お稲荷さんがあります。

景観百選散策コースを楽しく歩くために その3 《車には気をつけて》

散策コースを設定する際に一番気を配ったのが、歩くときの安全確保についてです。コース設定には、できるだけ歩道が確保されている道が多く選び、交通量の多い道は避けるようにしました。また、大通りを渡る際には、信号のある交差点を通れるよう設定しています。

しかし、各コースとも車の通りが激しく危険なところもあります。特に気をつけてほしいところは、注意書きをしておりますが、散策中は、みなさんくれぐれもご注意ください。

北区景観 百選をめぐる 散策MAP

快適な石神井川沿いの 遊歩道から王子駅 付近の自然を楽しむ道



① 音無えのき緑地

陽当たりのよい、快適な休憩場所です。石神井川の遊歩道沿いには、このような憩いのスペースがたくさんあります。



② 中央公園

緑豊かな園内の道では、ジョギングを楽しむ人に多く出会います。春には、お花見も楽しめます。



③ 遊歩道とせせらぎ

音無さくら緑地からは、遊歩道脇にせせらぎがあり、歩行者にさわやかな感じを与えてくれます。

滝野川～石神井川～王子～十条 11.2km

7.0km

板橋駅

板橋駅前通りの桜並木

滝野川6-34にある井戸

音無くぬぎ緑地

中央公園と文化センター

音無もみじ緑地

金剛寺(もみじ寺)

紅葉橋

音無さくら緑地と緑の吊り橋

石神井川と遊歩道

正受院(赤ちゃん寺)

飛鳥大坂

音無橋と親水公園

王子駅

4.2km

王子駅

王子神社

王子稲荷神社

名主の滝公園

ちんちん山児童遊園

パノラマプール十条台

十条野鳥の森緑地

富士神社

十条銀座商店街

十条駅



きつね塚商店街
ステンドグラス調の街灯が目印です。「きつね塚」の名前は、商店街のはずれにある2つのお稲荷さん(重吉稲荷と伏見稲荷)に由来します。

滝野川市場通り商店街
その名の通り、市場のような活気にぎわいが感じられる商店街です。

板橋駅を起点に、多くの人たちが散歩を楽しんでいる石神井川沿いの遊歩道から、王子神社、名主の滝などを巡る贅沢な散策コースです。石神井川沿いは、音無親水公園まで、両岸が遊歩道として整備されています。沿道には、数カ所の緑地帯もあり、休憩をとりながら、散策が楽しめるようになっています。また、王子駅から十条駅にかけては、景観百選に選定されたポイントが連続するコースになっています。板橋駅から王子駅前経由で十条駅まで歩くのは少々距離がありますので、王子駅まで歩き、その後はまた日を改めて歩くのもよいでしょう。景観百選のうち20カ所を巡る散策コースです。石神井川を泳ぐカモのようにのんびりと歩いてみてはいかがでしょうか。



コースポイント
交通量が多い道なので、通行には十分注意してください。

コースポイント
豆腐屋さんがある角

南橋
橋の上から低地方面へは、開放感あふれる景色が望めます。

コースポイント
音無橋脇にある階段を通ります。

コースポイント
「みよの台仲通り商店街」のアーチがある角を曲がると、60m先の右手に井戸があります。

旧中山道
現在も旧家が残っていて、昔の面影を少し残しています。また、「亀の子束子」のレトロな感じのする建物も目を引きま。



4 麻市

2月の午の日に王子稻荷神社で行われます。付近には露店が並び、多くの人でたいへんなにぎわいをみせます。



5 十条銀座商店街

平成10年にリニューアルされたきれいなアーケードがあります。

景観百選散策コースを楽しく歩くために その4 《散歩道にも楽しみがあり》

散策コースには、歩いて楽しい道ができるだけ多く取り入れました。
きれいに装飾された商店街には、途中でのどをうるおすことができるお店もあります。住宅街にも、きれいな建物や庭がたくさんあります。
ただ単に、景観百選に選定されたポイントを目指すのではなく、あなたなりの楽しみをみつけながら散策コースを歩いてみて下さい。

北区景観 百選をめぐる 散策MAP

北区クライマックス。 本郷通り& 飛鳥の小径を歩く道

飛鳥山～上中里～旧古河庭園 6.3km

- 王子駅
- 飛鳥の小径
- 飛鳥山公園
- 青淵文庫
- 東京ゲート記念館
- 七社神社
- 西ヶ原一里塚
- 滝野川公園
- 平塚神社
- 滝野川会館
- 旧古河庭園
- 旧古河庭園裏の白壁のある通り
- 駒込駅
- 霜降銀座商店街
- 無量寺



① 飛鳥山3つの博物館

平成10年、「北区飛鳥山博物館」「渋沢史料館」「紙の博物館」の3館が同時オープンしました。休館日は年末年始、月曜日、祝日の翌日。
 「北区飛鳥山博物館」TEL.03(3916)1133
 「渋沢史料館」TEL.03(3910)0005
 「紙の博物館」TEL.03(3916)2320



② 晩香廬

かつて渋沢栄一が青淵文庫とともに、数多くの来賓を迎えるのに使った洋風の茶屋です。釘が一本も使われていないこの建物は、大正6年に竣工しました。

独立行政法人国立印刷局滝野川工場
 「お札」を製造している工場です。予約が必要ですが、お札の製造過程や歴史について見学できます。敷地の前面には、植栽が施され、快適な歩行者空間を演出しています。

北区防災センター
 都内初の防災センターで、地震体験や煙体験をはじめ、災害に役立つ情報が学べます。問い合わせはTEL.03(3940)1811まで。



③ 七社神社の大イチョウ

木々が多い境内ですが、とりわけこの大イチョウは目を引きまします。



日光御成街道として栄えた本郷通りを歩くこのコースは、数多くの散策ガイドで紹介されていますが、本誌で紹介するコースが他と一風変わっているのは、飛鳥のこみち小径を散策するところです。王子駅から飛鳥山に入る際と、滝野川公園を裏に出て上中里駅脇を抜ける道は、大通りのにぎわいとは打って変わり、落ち着いた景観をつくり上げています。コース上の景観百選13カ所の中には、飛鳥山公園や旧古河庭園といった「一日いても飽きることのない」見所を含んでおり、まさに“北区クライマックス”と呼ぶにふさわしいコースと言えるでしょう。



上中里駅脇の飛鳥の小径
線路脇とは思えないくらい、ひっそりと物静かな感じがします。6月に咲くアジサイは見事です。

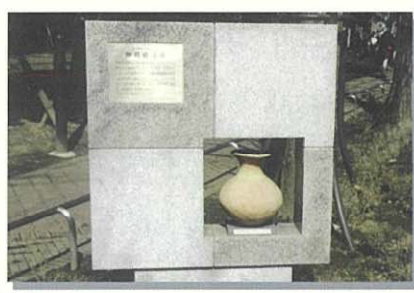
コースポイント
平塚神社境内に続く階段があります。

蟬坂
坂の名前は当時、平塚神社の場所に城を築いていた豊島氏を、太田道灌がこの坂を通して攻め上ったので「攻め坂」と呼んでいたのが、転じたものです。

城官寺
徳川家の侍医であった多紀桂山一族の墓があり、都の旧跡に指定されています。

コースポイント
お地藏様「ことぶき地藏尊」が近くにある角。

コースポイント
車が多い通りなので、横断は必ず信号を渡ってください。



4 土器モニュメント

滝野川公園には、この辺りで発見された御殿前遺跡を示す土器のモニュメントがあります。この遺跡は、先土器時代から近世までのさまざまな時代を複合している遺跡で、特に、奈良・平安時代の建物の跡は、武蔵国豊島郡の郡衙(郡の役所)と推定される貴重な発見です。



5 滝野川会館サンクンガーデン

建物のガラス張りになっている円筒部の下にあります。段々になっている部分に座り、しばし語らう人たちの憩いのスペースになっています。

景観百選散策コースを楽しく歩くために その5 《散策時にはマナーを大切に》

寺院や神社は神聖な場所です。これらを訪れる際には、マナーを十分守って下さい。また、百選紹介の中で、寺社については入場可能な時間を記していないところも多くありますが、日没までの明るい時間内に訪れるようにして下さい。

どの場所を訪れる際にも、草木を切ったり、定められた場所以外にゴミを捨てるなど、マナー違反は慎みましよう。

また、事務所や学校など、一般の入場をお断りしている施設もありますのでご注意ください。

北区景観 百選をめぐる 散策MAP

田端の歴史を巡る道

北区最長の桜並木から

都電に乗って、

都電梶原～田端～中里 7.4km

3.0km

まちを走る都電
(梶原停留場)

尾久客車区

上中里の操車場脇の
桜並木

東日本旅客鉄道株式会社
東京支社ビル

田端ふれあい橋

田端駅

4.4km

田端駅

田端文士村記念館

田端切り通し

田端1-22付近の桜並木

与楽寺

幽霊坂

東覚寺

女子聖学院礼拝堂

聖学院小学校脇の坂道

駒込駅



1 都電梶原停留場と 梶原銀座商店街

梶原停留場の近くにある商店街は、都電型のアーチをつけています。



2 田端ふれあい橋の夜景

橋の両側につけられた街路灯が、暖かみのある色合いの光で、ロマンチックな夜景を演出しています。



上中里さわやか橋

エレベーター式の高架橋で、車椅子の方も安心して利用できます。尾久客車区を眺めるにはこの上からが最適です。

！コースポイント

女子聖学院礼拝堂から2つ目の路地で、信号があります。



！ 景観百選散策コースを楽しく歩くために その6 〈期日限定の百選-桜並木、お祭り〉

北区景観百選には、多くの桜並木が選定されています。桜はやはり、花開く春が一番の見頃でしょうが、夏の青葉、秋の紅葉など、季節に応じてそれぞれに違った風景を演出してくれます。満開の頃を想像しながらの、花のない桜並木の散策もなかなかおつまものかもしれません。

また、景観百選にはいくつかのお祭りが選ばれています。お祭りは、人のにぎわいをつくりだし、そのかわいさを特徴づける重要な景観要素です。ただし、開催日には注意して訪れるようにして下さい。



3 田端文士村記念館の館内

明治から昭和にかけて、この近辺に住み、活躍した60名近くの文士や芸術家の活躍を展示しています。館内はとてもきれいなつくりになっています。

最後に紹介するこのコースは、田端駅で前半と後半に分けて歩くこともできます。梶原停留場へは、都内で唯一残る都電に乗って行きましょう。コース前半には、尾久客車区や新幹線基地などがあり、停車しているいろいろな種類の電車を見ることができます。コース後半の見所は田端駅周辺です。切り通しや寺社など景観百選選定地をはじめ、明治から昭和にかけて田端で活躍した文士・芸術家たちゆかりの場所が数多くあります。都電を含めて、景観百選のうち13カ所を訪れるコースです。いにしへの文士たちに思いを馳せて、ロマンチックに歩きたいものです。



4 四面四仏石塔

与楽寺本堂の裏手に広がるきれいな庭の一角にある、高さ1.5mほどの石塔です。傘のようなものが上についた形は珍しく、南北朝時代の作といわれています。



貝塚跡
平成8年、縄文時代の遺跡が発掘された場所です。日本最大級の貝塚遺跡で、日本初となる貴重な「貝蒸し遺跡」が出土しました。

富士見橋エコー広場館
カラフルな色づかいのされた建物です。リサイクルについてのさまざまな展示やフリーマーケットなど、楽しいイベントが開催されています。

コースポイント
道が狭く、車が多いので通行には十分注意してください。

コースポイント
切り通し脇にある階段を通ります。

コースポイント
日枝神社の鳥居が見える角を曲がり、さらに、神社の階段の手前を曲がります。

ポプラ坂
大正期に、田端文士村の文学者や芸術家の社交場となっていたポプラ並木に囲まれたテニスコートがあったことから、この名前が付けられました。細い坂道ですが、坂の上からは素晴らしい景色が望めます。

与楽寺坂
蛇のように曲がりくねった細い坂道です。沿道の石垣ともあいまって、落ちついた景観をつくりあげています。

かいわい・まちすじの景観

セピア色に色づいた思い出で…

今はなくなってしまったり、

大きく姿を変えてしまった

そんな景観の中でも、

今なお

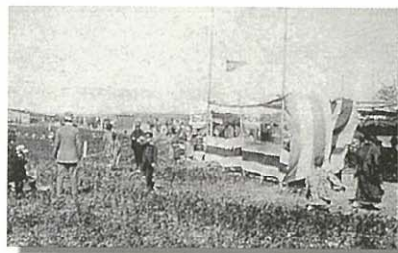
心の中に残る

思い出の景観をご紹介します。



昭和30年代の赤羽駅西口

当時は駅前広場もない状態でしたが、現在は再開発によってきれいになり、景観百選に選定されています。(倉田正義氏提供)



浮間の桜草

かつて、浮間地域の荒川や浮間ヶ池の水辺一帯には桜草が自生していました。江戸時代から、開花の時期には多くの見物人が訪れました。(青木豊一氏所蔵)



赤羽復興会商店街 現在の赤羽1番街商店街(昭和28年4月)

赤羽1番街辺りは、かつて赤羽復興会商店街と呼ばれ、商業協同組合として第1号の東京都認可を受けました。(手川文夫氏撮影)



桐ヶ丘の風景(昭和31年秋)

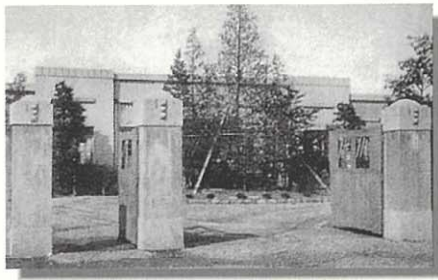
建設が始まった団地の隣には、まだ農地が残っていました。(渡辺肇氏撮影)



軍需工場へ続く鉄道 現在の赤羽緑道公園

現在、赤羽緑道公園がある場所には、かつて軍需工場へ続く鉄道が敷かれていました。この写真は、昭和30年代、都営桐ヶ丘団地の入居者抽選に当たった人たちがこの線路跡を通り、休日などに胸をはすませ下見に訪れたようすを写しています。(渡辺肇氏撮影)

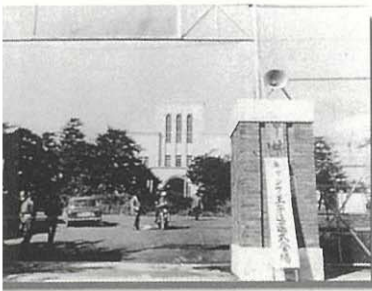
王子
地区



陸軍造兵廠火工廠王子火薬製造所
この施設は、現在の豊島中学校辺りにあったものです。かつて、北区は軍事関係施設が総面積の1割を占める軍都でした。
(北区行政資料センター所蔵)



銀座商店街 (昭和37年頃)
アーケードは設置されていませんが、当時から大変なにぎわいを呈しました。
(倉田正義氏提供)

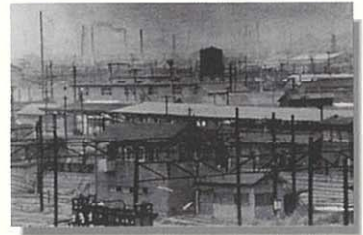


キャンプ王子
現在の中央公園文化センターです。都立障害者スポーツセンターや北養護学校辺りの一帯約12万3千㎡は、太平洋戦争後キャンプ王子として、進駐軍により使用されていました。写真は、昭和46年10月の返還式の時のものです。(北区役所所蔵)



日産化学王子工場 (昭和28年1月)
現在この工場跡地には、昭和47年に建設された豊島五丁目団地があります。
(手川文夫氏撮影)

滝野川
地区



田端駅付近の工場 (昭和37年頃)
線路沿いに工場がありました。
(倉田正義氏提供)



滝野川支所 (昭和35年2月)
滝野川会館がある場所にかつてあった建物で、昭和22年の王子区と滝野川区の合併までは滝野川区役所として、それ以後は北区滝野川支所として利用されました。
(北区役所所蔵)



田端銀座通り (昭和37年頃)
現在、写真右手のお菓子屋さんは肉屋さんになっていて、また、左手の建物は銀行の出張所になっています。
(北区飛鳥山博物館所蔵)



田端大橋 現在の田端ふれあい橋 (昭和37年頃)
交通量の増加に伴い、昭和62年にこの田端大橋の隣に新田端大橋が架けられました。田端大橋が、田端ふれあい橋として歩行者専用橋にリニューアルされたのは平成4年のことです。
(倉田正義氏提供)

ふちどり・骨組みの景観



新荒川大橋

荒川に架けられた北区と埼玉県川口市を結ぶ橋で、昭和3年に開通しました。現在の新荒川大橋は、昭和45年にこの橋のすぐ脇に架けられた新しいものです。
(青木豊一氏所蔵)



新河岸川(昭和37年頃)

木船がたくさん接岸されています。

(倉田正義氏提供)

「ふちどりの景観」



旧新田橋

昭和16年に現在の北区豊島と足立区新田の間に架けられた木造の橋です。昭和36年に交通量の増加に応じるため、鋼橋に架け替えられました。

(倉田正義氏提供)



滝野川の紅葉

滝野川は金剛寺辺りを中心に、徳川八代将軍吉宗によってカエデが植樹され、紅葉の名所になりました。

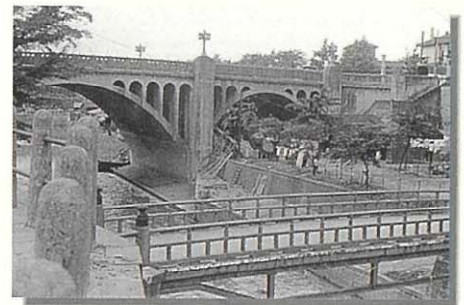
(青木豊一氏所蔵)



宮堀の渡(昭和37年頃)

現在、環状7号線が隅田川を渡る新神谷橋が架かっている辺りに昭和30年代の末頃まであった渡し船で、西新井の大師参りなどに利用されていました。

(倉田正義氏提供)



音無橋と舟串橋(昭和30年頃)

舟串橋の名前は、明治40年にこの橋をつくった舟串豊作に由来します。戦後に架け替えられた朱塗りの橋は、一時、水害などの損傷で廃橋になりましたが、音無親水公園の完成とともに姿を変え復活しました。

(倉田正義氏提供)



石神井川の洪水

昭和43年に飛鳥山の下を抜けるトンネル水路が完成するまで、石神井川は現在の音無親水公園付近で度々洪水の被害を出していました。当時この辺りは川幅が狭く、川が2カ所で直角に曲がっていたため水があふれやすかったのです。

(芦田正次郎氏撮影)



飛鳥山公園の展望塔

高さが25mで、20分に1回の速度で回転する展望ラウンジは多くの人に利用されましたが、平成5年に解体されました。(北区飛鳥山博物館所蔵)



石神井川(昭和37年頃)

この頃、川沿いにはどかな風景が見られました。

(倉田正義氏提供)



骨組みの景観



昭和29年の西ヶ原一里塚辺り

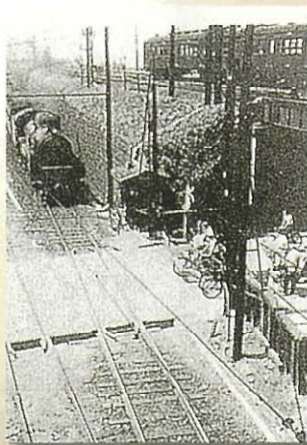
大正12年に、本郷通りを王子駅から駒込方面へ走る都電の路線が開通しましたが、昭和46年に廃止になりました。(手川文夫氏撮影)



都電の赤羽終点付近

現在の地下鉄赤羽岩淵駅辺りの写真です。赤羽～王子間にも都電が走っていましたが、昭和47年に廃止になりました。

(東京都交通局提供)



赤羽駅付近のS.L.(昭和30年頃)

右上に見える列車が京浜東北線です。(手川文夫氏撮影)



飛鳥山から望む音無橋、明治通り、北区役所方面の風景(昭和35年2月)

飛鳥大坂付近は、当時から多くの車が通る交通の要衝でした。(北区役所所蔵)

北区景観百選選定の経緯

●平成7年7月24日 第1回東京都北区都市景観づくり審議会(以下景観づくり審議会)が開催される。景観百選の選定など、今後の景観づくりについて意見交換がされる。

●平成8年7月29日 第2回景観づくり審議会が開催され、北区長より「景観百選を認定するための、区内の優れた都市景観の選定」について諮問される。平成8年度は、区民からの応募を基に候補地の選定を行い、また、平成9年度に区民投票を行い、投票結果を基に景観づくり審議会において景観百選について答申することを決定した。



推薦募集ポスター

●平成8年10月1日 景観百選候補地の推薦募集開始(～12月20日)。計2,579通の推薦があった。また、推薦募集ポスターが、平成8年度東京都広報コンクール広報ポスター部門2席になる。

●平成9年4月24日 第3回景観づくり審議会開催。区民の推薦を基に、272カ所を候補地として決定する。

●平成9年8月1日 景観百選選定の区民投票開始(～10月31日)。全候補地の写真と地図が



投票用パンフレット

ついた投票用パンフレットを作成した。区内290カ所に投票箱を設置し、北区区民まつりや北区産業展などのイベントで投票コーナーを設けるなど積極的に投票を募った。その結果、総投票枚数22,820枚、総得票数97,027票もの参加を得る。(投票用紙1枚について、5カ所まで記入可能)

●平成10年2月4日 第4回景観づくり審議会開催。区民投票の結果を基に、区内の優れた都市景観100カ所を、景観百選としてまとめる。

●平成10年2月9日 景観づくり審議会の答申を受け、北区長が北区景観百選を選定した。選定された百選について、その一覧を北区ニュース3月25日号に掲載する。



北区区民まつりでの投票のようす

— おわりに —

この度は、北区景観百選ガイドブックをご覧いただきまして誠にありがとうございます。このガイドブックは、百選選定にあたっての投票や、選定地に関する写真やコメントをお寄せいただくなど、区民の皆さんの多大なご協力により作成したものです。

この本が、景観づくりに対する多くの方々に関心と呼び、北区を素晴らしいまちにしていく一つのきっかけになるよう祈っております。

本書の内容や北区の景観づくりについて、ご意見やお気付きの点などお気軽にお寄せくださいますようお願いいたします。

北区景観百選ガイドブック

一部改訂版 (刊行物登録番号 18-1-090)

平成19年3月発行

発行：北区まちづくり部都市計画課

〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22

TEL 03-3908-9152

制作：東電広告株式会社 中央支社

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚2-26-2

笹塚ノース小田急ビル

TEL 0120(338)610

北区では、区民の皆さんが愛着を持ち、訪れる人が魅力を感じる都市景観を創造し、育成、保全し、豊かな都市文化と美しいふるさとをつくることを目的として、「北区景観賞」を創設しました。

良好な都市景観づくりに寄与する建築物等を選定し、所有者、設計者、施工者を「景観賞」「景観保全賞」として表彰しています。

選定にあたっては、区民の皆さんから優れた景観の建築物等を推薦していただき、さらに、区民投票を実施するなど、多くの方々にご協力いただきました。



北区景観百選 ガイドブック

一部改訂版



City of Kita

KITA-KU
THE BEST SELECTION
OF THE VIEW
100

